

トピックス

2020.06 Jun

新しい生活様式 特に賃貸経営に関わるもの

テレワークの拡充

- ・居住スペースと作業スペースを分けて利用したいという声が高まる
- ・都心に住む必要がなくなり、郊外に居住したまま勤務が出来る
- ・通信機器を利用するため、建物の回線設備を完備する必要が出てくる

オフィス 店舗

- ・テレワークの拡充によって今まで通りのオフィスが不要となる
- ・「3密」を避けるため、接客を伴う営業は縮小傾向となる
- ・イベント会場や貸スタジオ等は運営方法を変える必要が出てくる

結果として、市況のニーズに合わせて賃貸経営を継続する必要が出てきております。
今後は今まで通りの経営方針から大幅に変更を迫られることも考えられます。
情報を集めて精査し、それぞれのオーナー様に合わせたご提案が出来るよう努めて参ります。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋外より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 乗車や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 □咳エチケットの徹底 □こまめに換気
- 身体的距離の確保 □「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて着早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長風呂は無用
- 取や応酬は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお酒口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □名刺交換はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

厚生労働省HPから引用

インフォメーション

【定休日変更のお知らせ】

誠に勝手ながらアシスト全店舗、2020年4月1日より毎週水曜日及び毎月第二火曜日を定休日とさせていただきます。
皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程何卒宜しくお願いします。

【WEB相談】

- ・ミサワホーム株式会社
- ・非対面でのご相談を受け付けております。
例 相続対策、土地活用、資金計画、アパート建替 など
- ・ご予約や詳細なお問い合わせに関しては、下記連絡先までお願いいたします。

MISAWA
ご自宅で
資産活用
WEB相談 安心 簡単
こんな時だから、自宅で気軽に相談しませんか？
例えばこんなご相談 相続対策 かんたんごちから
土地活用 建替・新築 賃貸併用住宅
資金計画 アパート経営 実家活用 など
簡単WEB相談で丁寧にお答えします。
WEB相談に申し込むの方に
ジェフグルメカード
全国共通の食事券
3,000円分
プレゼント

担当者(お問い合わせ先)
城南管理部：鈴木 琢也(スズキ タクヤ)
城西管理部：長谷川 貴義(ハセガワ タカヨシ)

ASSIST
株式会社アシスト

・城南管理部
東京都世田谷区三軒茶屋1-37-8-10F
TEL：03-5779-7700
・城西管理部
東京都中野区中野2-18-5
TEL：03-5328-8288

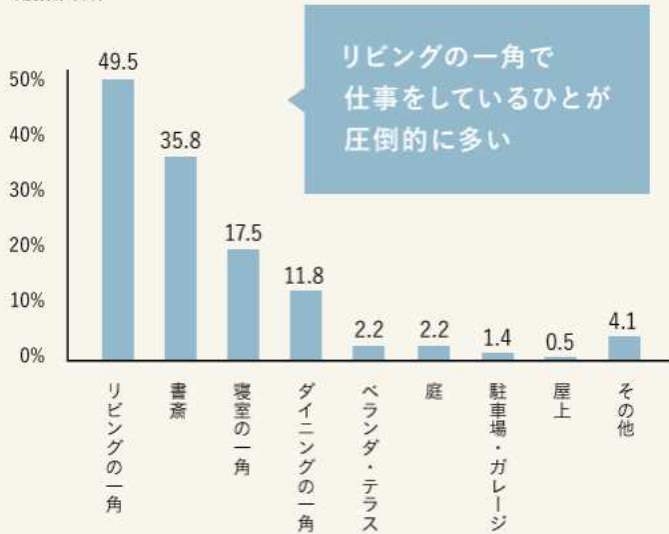
「新しい生活様式」で求められる賃貸住宅とは？

5月4日に新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が公表され、今後の日常生活での基本様式や各場面での行動の実践例が示されました。その中で「働き方」についても実践例が示されています。

中でもテレワークは緊急事態宣言期間中も多くの企業で実践されました。旭化成ホームズ（株）が20代～50代の各100名に行ったアンケート調査では、在宅勤務で増えた時間を家族とのコミュニケーションや趣味の時間として有効に活用していることが分かります。また、ワーキングスペースとしてはリビングの一角で仕事をしている人が圧倒的に多い結果になりました。

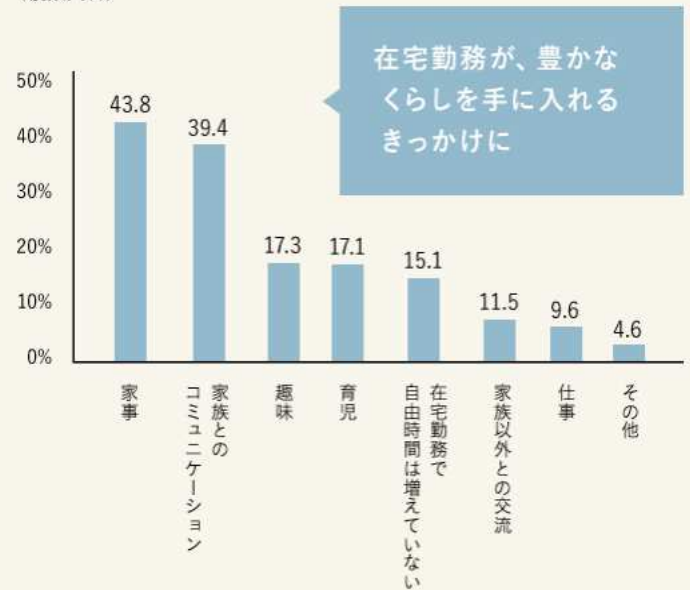
現在のワークスペースの場所は？

(複数回答)

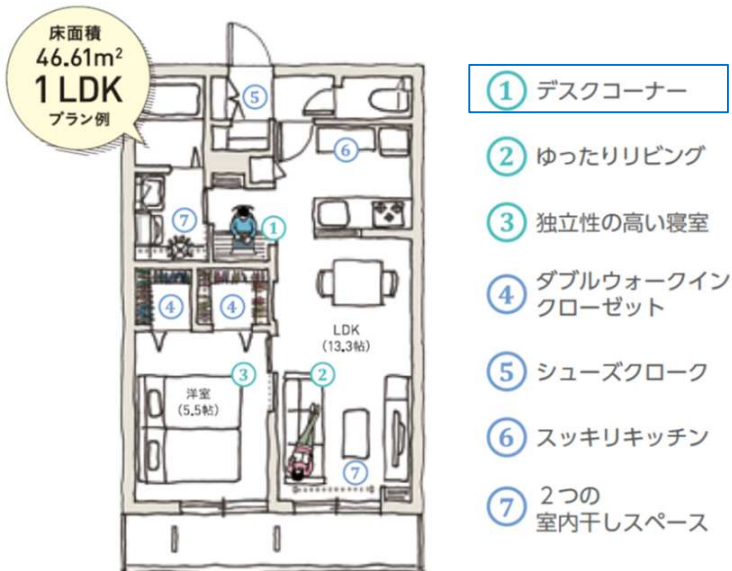


在宅勤務で増えた時間、何してる？

(複数回答)



アシストへは6月までに「在宅ワークで感じたストレスを原因とした」引越しの問い合わせが複数件ありました。ストレスの内容は、「リビングや寝室に仕事に集中できる空間が無い」「外の音が聞こえる」「虫が入ってくる」など間取りに関する不満だけでなく周辺環境や建物構造を要因とするものまで様々です。アンケート結果と不満の内容から、快適な自宅環境を整えば、今後も在宅ワーク（テレワーク）のニーズは高まるように感じています。アンケート調査を行った旭化成ホームズ（株）では、2人世帯やファミリー世帯向けにリビングに仕事空間を設けた賃貸住宅を提案しています。



LDKの中でワーキングスペースとくつろぎの空間を緩やかに分けることで、在宅ワークで生れた家族との繋がりを残しつつ独立性を確保した提案となっています。今後、通信環境の整備などのインフラ面も含めて在宅ワークに注目した賃貸住宅の提案が増えてくるかもしれません。アシストでは引き続き市場の動向を注視し最新の情報をご提供致します！